



# 成沢っ子

令和7年3月3日 第11号



教育目標 夢の実現に向けて 生き生きと学び、高め合う成沢っ子の育成

花の色は うつりにけりな いたづらに  
わが身世にふる ながめせしまに  
小野小町



校長 熊谷 智仁

桜の花の色は長雨で衰えてしまいました。私もぼんやりと物思いにふけっているうちに衰えてしまったようだ。と小町は春のはかなさを歌にしています。また、小町は歌の中に雨が「降る」と年月を「経る」、「長雨」と「眺め」の二つの掛詞で言葉遊びをし、花と心の美しさを「色」で繋いでいます。一年の終わりに子ども達との、一瞬と経過、心地よい疲労感と未来への希望、様々な感情を抱く担任の心境かと……。あっという間に3月になり、慌ただしく過ごしていますが、春は確実に近づき、別れの季節となってきます。あんなこともしたい、こんなこともしたい、やり残しは？伝え忘れは？と担任は気持ちばかり前のめりになりますが、ふっと「も一終わりか」と思うものです。※少しでも教員の気持ちをお伝えします。

さて、3月は、一年間の振り返りと次年度への計画立案という大切な期間です。また、6年生を送る会では、一人一人が役割を自覚し責任を果たし、感謝の気持ちを持ち伝える機会となり、特に5年生は成沢小の伝統を受け継ぎ、リーダーとしての覚悟を身につける絶好のチャンスとなります。また、6年生は未来や希望、感謝や思いやり、優しさや強さというかけがえのない学びを卒業式というセレモニーを通じ実体験し一つ階段を上ります。どの児童にも大事な時間になります。

デジタル化、情報化と言われる現代社会で生きる私たちは、どうしてもスピード感や効率性が求められますが、時にゆっくり時間をかけて穏やかな雰囲気、子ども達に肯定的で魂を揺さぶる言葉を発していくのが大人の務めと考えます。「自分の好きと同時に友達の良いことも大事にする」という多様性と「あなたのペースでいいよ」「あなたを見ていますよ」と個人を大事にすることの大切さを発信できる存在でありたいと思っています。一年間超アナログな和歌を取り上げ、子ども達や保護者、地域の皆様への思いを綴ってきました。少しでも目にとまっていたいただければと勉強してみました。お付き合いいただきましたこと心より御礼申し上げます。

令和6年度、どの子ども達も確かな成長を遂げております。これもひとえに皆様の心温かなご支援の賜と感謝申し上げます。今後とも本校教育活動に対しましてご理解とご協力をお願いいたします。



## 【3年生】クラブを見学しました

2月12日（水）に、3年生がクラブ見学を行いました。各クラブの活動の様子を見学し、来年度入るクラブを決める時の参考にします。「どのクラブに入ろうかな。」と迷っているようでした。

## プログラミング教室を実施しました～日専校による出前授業～



昨年度からスタートした4年生と6年生のプログラミング教室。今年度も、日立工業専修学校の皆様の出前授業を行いました。

13日(木)1・2校時には4年生が、3・4校時には6年生が「カーリングロボット」の動きを組み立て、試行錯誤しながらプログラミングの楽しさを実感しました。

## 令和6年度学校運営協議会委員の皆様、お世話になりました



学校運営協議会委員の皆様には、地域と学校の懸け橋としてご尽力いただいております。本年度は、地域と合同の運動会や夏祭り、観劇会やフレッシュわかあゆタイムへのご支援をいただきました。次年度は、さらに家庭・地域・学校の連携した取組について協議して参ります。

## 2月21日(金)授業参観・保護者会



授業参観・保護者会に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。子ども達は、1年間の学習の成果や総合的な学習の時間で学んだことなどを発表しました。1年生は、かみね動物園とのコラボレーションにより実現した「さわちゃん観察日記」発表会を行いました。ゲストティーチャーとして、茨城大学の先生やかみね動物園の方をお招きし、観察学習についてのご指導・ご助言をいただきました。